

釧路圏の道立広域公園に関する民間活力の導入に向けた市場調査の結果について

1 調査目的・背景

道では、釧路圏の道立広域公園の整備に向けた、官民連携による広域公園の整備・運営に関する意見・提案を幅広く収集するとともに、民間事業者が参画しやすい条件等の確認を目的とした市場調査を実施しましたので、その概要を公表いたします。

なお、本調査にご参加いただいた提案事業者のアイデアやノウハウを保護するため、提案事業者名を含め、詳細な提案内容については非公開といたします。

2 調査概要

項目	内容
(1) 対象箇所	北海道白糠郡白糠町泊別地区（約50ha）
(2) 対象施設	（仮称）釧路圏道立広域公園
(3) 実施経過	① 令和5年9月29日 実施要領等の公表
	② 令和5年10月20日 説明会・現地見学会
	③ 令和5年12月15日 意見書締切り
	④ 令和6年1月23日～26日 個別ヒアリング

3 調査参加状況

参加者数	業種
3者	総合建設業、建設コンサルタント業、製造・販売・小売業

4 意見・提案内容

調査項目	意見・提案
ア) 導入が適切と考えられる施設	・ 公共施設 →センターハウス、屋内遊戯施設、屋外遊戯施設、イベント広場 など ・ 収益施設（民間運営） →カフェ、売店、アスレチック施設、キャンプ・グランピング施設 など
イ) 公園規模	・ 候補地全体を活用する意見があった ・ 面積規模を縮小する意見があった
ウ) 事業手法	公共施設の整備・運営については、DBO方式やBTO方式の提案があり、民間運営による収益施設の整備・運営については、Park-PFIやDBO方式の提案があった。また、運営にあたっては、市場リスクを官民で分担する手法についての提案があった。
エ) 財政負担軽減策	収益施設を民間運営とすることで独立採算の可能性がある一方、得られた収益を公共施設の維持管理・運営費へ充当するためには、利用者数の増加を促進する取組みが重要であり、官民が連携したイベント開催や公園周辺地における新たな事業展開、周辺住民だけでなく道内外・国外からの利用促進を目指すべきなどの意見があった。
オ) その他 （道への要望など）	・ 公園内の建物や土地を使用する際に費用が発生する場合は負担を軽減してほしい ・ 利用促進に向けて、地域関係者を含めた連携が望ましい ・ 事業実施の際には地域住民などの要望・意見が反映されることが望ましい ・ 公園のランドデザインに住民意見を反映することが望ましい ・ 事業計画の検討にあたってはスケジュール感を提示してほしい

5 今後の進め方

収益施設の民間運営による独立採算の可能性などの意見・提案を踏まえ、基本構想の策定に向けて、求められる機能や官民連携による整備・運営手法のほか利用促進の取組みについても検討を進める。

◆用語解説

DBO	<ul style="list-style-type: none">・公共が資金調達し、施設の設計・建設・管理運営を一括して民間事業者にて担う方式。・公設民営による発注形態として、施設建設計画に維持管理のノウハウが反映でき、最適な施設計画が可能となる。
BTO	<ul style="list-style-type: none">・民間事業者が資金調達し、施設の設計・建設・管理運営を一括して民間事業者にて担う方式。・PFI法に基づき民設民営による長期契約及び包括的に民間事業者に委ねることで、運営面も最大限考慮した施設計画が可能となる。
Park-PFI	<ul style="list-style-type: none">・都市公園において飲食店、売店等の公園施設（公募対象公園施設）の設置又は管理を行う民間事業者を、公募により選定する手続き。・事業者が設置する施設から得られる収益を公園整備に還元することを条件に、事業者には都市公園法の特例措置がインセンティブとして適用される。